

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年4月27日現在

機関番号：32620

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21500982

研究課題名（和文）明治初頭日本における近代医学の受容と民衆の人体像

研究課題名（英文）A study on the relationship between the acceptance of modern medicine and the change in the common people's images of human body at the beginning of the Meiji era in Japan

研究代表者

月澤 美代子（TSUKISAWA MIYOKO）

順天堂大学・医学部・准教授

研究者番号：40311980

研究成果の概要（和文）：明治初頭日本における近代医学の受容に伴う「人体」像の変化のプロセスを明らかにするために、明治8（1875）年から明治11（1878）年に刊行された「人体問答」を表題につけた一群の初等教科書を分析した。多様な社会的・文化的・教養的背景をもつ人々によって記述された明治8年から9年はじめの「人体問答」書の多様な人体像が、明治9年から11年の間に変化していったことを明らかにした。

研究成果の概要（英文）：In order to investigate the process of change in the common people's image of the human body that accompanied the acceptance of modern medicine at the beginning of the Meiji era in Japan, we analyzed a group of cheap prints, titled "Jintai-Mondou"(questions and answers concerning parts of the human body) that were published between 1875 and 1878. These prints were used as textbooks for elementary school students and were written by common people with different social, cultural, and educational backgrounds. We made clear the images of the human body given in the prints published in 1875 and 1876 as well as the change in the human body image from 1876 to 1878.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：科学社会学・科学技術史

キーワード：人体、医学史、近代化、明治時代、日本

## 1. 研究開始当初の背景

江戸期から日本では一般庶民の間の識字率は高く、医療の専門職も多数存在していた。しかし、明治初期、近代医学の受容に伴い医療専門職集団の再編成が進行し、これと同時に、一般民衆を対象とした近代教育制度が導入された。本研究は、近代医学の受容に伴い、

一般庶民の「人体」像がどのように変容していったのかを、「形成過程にある医療専門職集団」と「一般民衆」、この間をつなぐ「啓蒙家」という多様な相に注目して分析しようとするものである。なお、本研究では、これまで十分な分析の対象とされてこなかった一群の安価な初等教育用の「人体」関連教科

書に焦点をあて、その網羅的な調査研究に基づいて歴史研究を行う。

## 2. 研究の目的

本研究の具体的な課題は、「人体問答」に表現された多様な「人体」像が「正しい人体」へと整序されていく歴史的なプロセスと背景を明らかにすることである。

このため、まず、(1) 明治 8~11 (1875-1878) 年刊行の「人体問答」書の収集・整理を行い、「問答」と「画像」の分析から、そこに表出された明治初頭の民衆の多様な「人体」像を明らかにする。次に、(2) 「人体問答」書の内容の変化を明らかにし、この変化と当該時代の「医療啓蒙」活動、「医療専門職集団」の再構成との関係を明らかにする。さらに、(3) 「人体問答」書に表現された「人体」像の多様性と変化を、当該時代のさまざまな側面、すなわち、医学・教育・政治・思想・法制・文化的側面において吟味した上で、多様な「人体」が「正しい人体」へと整序されていく過程を明らかにする。

## 3. 研究の方法

### 1) 書誌情報の収集

明治期に「人体問答」を表題につけて刊行された書誌情報と画像を、『日本教科書大系』、『明治以降教科書総目録』、順天堂大学所蔵『山崎文庫』、国立国会図書館近代デジタルデータベース、国立教育政策研究所・教育図書館等から収集整理する。

### 2) 研究用データベースに登録・整理

研究代表者らが開発した研究用データベースに登録し、その過程で、「人体問答」書の特徴を抽出し、分類、グループ分けを行う。同時に、各「人体問答」書の独自性を抽出する。

3) 2) で抽出された特色に基づき、周辺の情報収集し、目的に添った観点から分析を行い、論文を纏める。

## 4. 研究成果

1) 明治 8~11 年刊行の「人体問答」書の網羅的な検討を行い、相互の影響関係、経年的な変化を明らかにした。

2) 当該時代の「医療啓蒙」活動の実像を明らかにするために、「医療専門職集団」の間での医療情報の伝達・普及の過程を具体的な医療技術を中心にして明らかにした。研究成果の一部を論文にまとめ『日本医史学雑誌』に原著論文として発表し、平成 22 年度日本医科器械史研究賞を受賞した。

3) 大阪で出版された「人体問答」書の相互交流・影響関係を整理した。「人体問答」に表現された「人体」像の多様性と変化を、当該時代の多様な側面、すなわち、医学・教育・政治・思想・法制・文化等と関連づけて分析し、多様な「人体」が「正しい人体」へと整序されていく歴史的過程を明らかにした。この成果の一部を日本医史学会学術集会で発表した。

4) 「人体問答」の執筆者たちの人体像に影響を与えた西洋解剖学人体模型であるフランス製のキンストレーキの解体修理過程、および、DVD制作にアドバイザーとして立ち会った。

## 5. 主な発表論文等

[雑誌論文] (計 3 件)

1. 月澤美代子、1850~1870 年代における医療情報の伝達・普及—欧米と日本の皮下注射法に関する情報を中心に—、日本医史学雑誌、2011;57:419-431. (査読有)

2. 月澤美代子、明治初頭日本における医療技術の移入と医療技術評価—外科器械「焼灼電気器」の導入過程を事例として、医療機器学、2010;80:387-392. (査読有)

3. 月澤美代子、明治初頭日本に於ける『医療技術の移入・受容過程—外科器具「イクラセウル」と「焼灼電気器」を中心に—、日本医史学雑誌、2009;55:317-328. (査読有)

[学会発表] (計 6 件)

1. 月澤美代子、大阪の『人体問答』—明治 8~12 年刊行初等教育教科書における人体像—、第 112 回日本医史学会、2011 年 6 月 11 日~12 日、順天堂大学：東京

2. 月澤美代子、金澤大学所蔵キンストレーキの解組と新たに確認されたオランダ語、日本語ラベル、第 111 回日本医史学会、2010 年 6 月 12 日~13 日、茨城大学：水戸

3. Miyoko TSUKISAWA, Language, Information, Instruments, and Medical Treatment—The medical assessment by Japanese physicians at the beginning of the Meiji era—、XXIII International Congress of History of Science and Technology, 26<sup>th</sup> July ~ 2<sup>nd</sup> August, 2009, Budapest: Hungary

4. 月澤美代子、明治初頭日本における医療情報の伝達・普及・定着—皮下注射法を中心に—、日本医史学雑誌、55(2):172,2009. (第

110 回日本医史学会、2009.6.5-6.佐賀市アバンセ)

〔図書〕(計1件)

1. 山本博監修、井関尚一他、月澤美代子(アドバイザー)、デジタルアーカイブ『キンストレーキー平成の修理と解体・組付動画』、国立大学法人 金澤大学医学部制作、2011.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

月澤美代子 (TSUKISAWA MIYOKO)

順天堂大学・大学院医学研究科・准教授

研究者番号：40311980